

カスタム、メンテナンス、DIY、アウトドア!
ガレージを楽しむ人のスタイルマガジン決定版!!

GarageLife

ガレージライフ・アメリカン

American

vol.11

その気になれば何でもできる!?

DIYガレージング!

アメリカンバイクの雄

『Indian Motorcycle』

スイーツ販売ガレージ

『SAYA SWEETS GARAGE』

ガレージに取り入れたいアイデアが満載

『DALTON』



超特盛!!

13物件一挙公開!!

アメリカンガレージ 実例集!!

NEKO M00K 3170



クルマの整備をするためにリフトの設置を前提としていたこともあり、ガレージの天井は約5mと高く設定されている。そのこともあり、かなりボリュームのある空間となっている。

プライベートユースとは思えないほどの 巨大ガレージで楽しむローライダーライフ。

徳田 千葉県

多くのクルマが行き交う街道沿いに作られた広大な敷地を持つアメリカンガレージ。周囲にフェンスを張り巡らし、数十本にも及ぶヤシの木が植えられたその場所は、まるで西海岸のプライベートリゾートのような雰囲気さえ感じさせる。夜になると活動を開始するローライダーオーナーのガレージライフを紹介する。

photo & text / Dan KOMATSU (小松 男)

01

シルバーのインパラは知人の車で、メンテナンスのために預かっているもの。壁一面に描かれた映画フライデーのグラフィティは、アーティスト「NAM」氏が手掛けた作品だ。

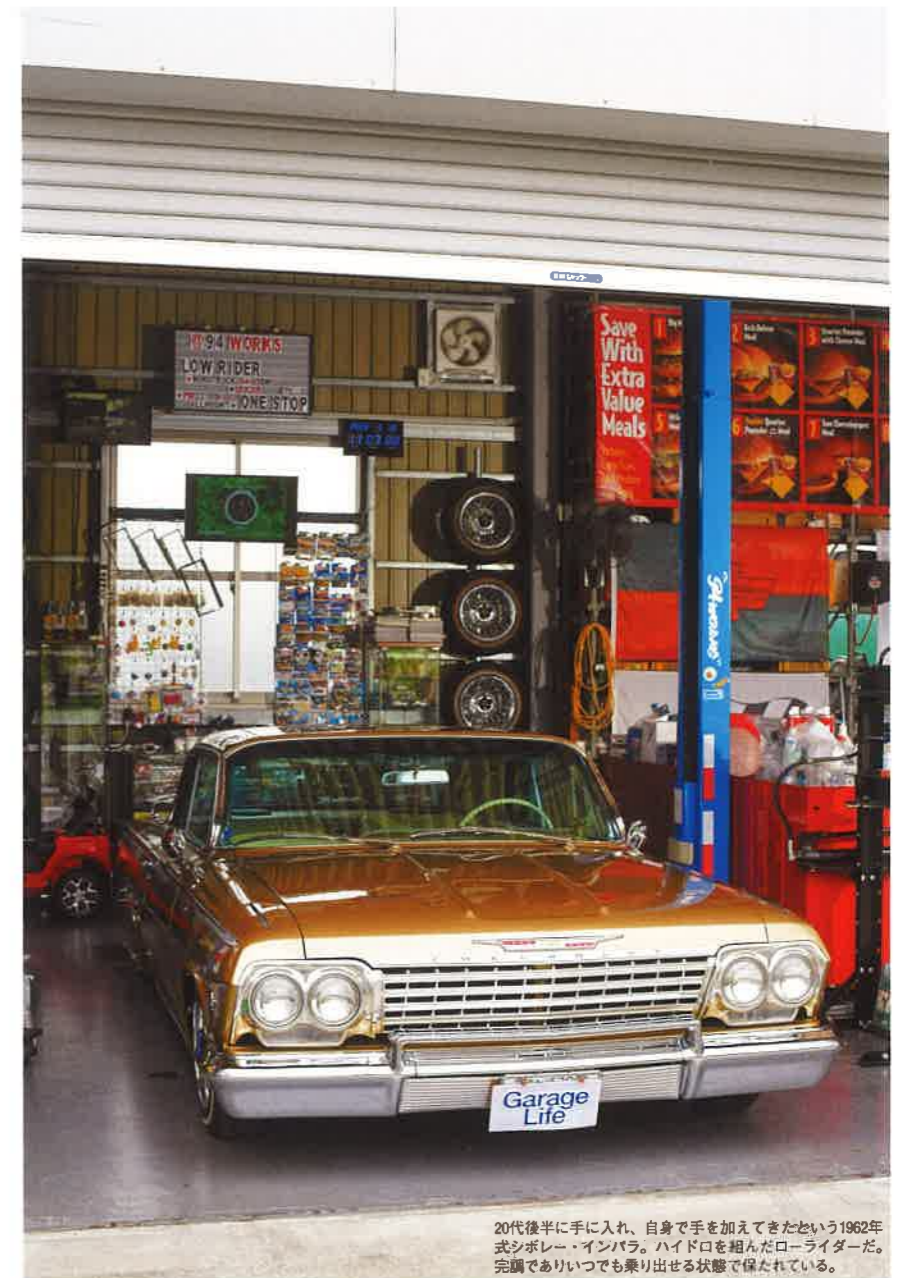


1 ショーケースを活用しパーツなどをディスプレイする他、動画などを流すモニターの他、防犯カメラのモニターも設置。
2 フリートラインが取められるガレージの奥には作業台を設置。旋盤から溶接機など幅広いツールが用意されている上、ストックパーツも十分。
3 元々ガソリンスタンドがあった跡地を利用建てられていることもあり、とても広々とした敷地を有している。

ローライダーとグラフィティで雰囲気バツグン!

房総半島を南北に縦貫する通称大多喜街道は、外房へのツーリングやドライブなどで利用する人も多い道だ。その街道沿いに数年前から気になっていたスポットがあった。ガレージのようなのだが、個人の邸宅と言うよりも整備工場のようにも思えるほどの大規模なものであり、敷地を取り囲むアメリカンフェンスや数多く植えられたヤシの木などは、プレミアムリゾートを連想させる。今回はその場所を偶然にも以前本誌GarageLifeにて取材させていただいた方からの紹介で取材することができたのだ。

アメリカンフェンスの正面に設置された大きなゲートをくぐって敷地内へと足を踏み入れる。向かって左側にリゾートライクな邸宅、そして右手に一口の幅4mという大きなガレージシャッターを4基備えた、それは巨大なガレージが建てられていた。ガレージシャッターが開くと、2台のインパラローライダー、48年式のシボレー・フリートライン、そしてキャンピングカーのウィネベゴが収められていた。稀に見る特大サイズのガレージであり、中に収まる車種も興味深いものばかりだ。ガレージの施主である榎田さんにガレージの事を伺うことにした。「幼少期からクルマのおもちゃに囲まれて育ち、高校生になるとクルマやバイクなど乗り物のカスタムなどを楽しむようになりました。若い頃はクルマ関係の仕事に就くことも考えたのですが、一方で物を作ることも好きだった私は、将来的



20代後半に手に入れ、自身で手を加えてきたという1962年式シボレー・インパラ。ハイドロを組んだローライダーだ。完調でありいつでも乗り出せる状態で保たれている。



1 ガレージ内部は3台置きと1台置きで仕切られている。まるでメンテナンスファクトリーのような巨大なガレージであり、プライベートガレージだとは思えない空間である。2 ガレージは榎田さんの苗字から「94」を使い、「94WORKS」と名付けられている。夜家族が寝てから作業を始めるということで、オープン時間は22時からとなっている。



1 アメリカの公衆電話をガレージ前に設置している。なお鋸合板を使ったケースは、自身で曲げて作ったオリジナル。何でもDIYで作り上げてしまう。2 ココスヤシヤンテツなど、数十本単位で植えられている。この雰囲気を活かし、アパレルのカタログ撮影なども行われている。

様々なメンテナンスに対応するために、カーリフトの設置は必須だった。それだけでなく、ハンドツール満載のツールキャビネットをはじめ様々な工具が用意され、幅広い作業を行える。



榎田裕哲さん、裕子さん、りんかちゃんの3人家族。ガレージのある生活を家族一緒に楽しんでいる様子が伝わってきた。



向かって一番右側のガレージには1948年式のシボレー・フリートラインが収まっている。オリジナル状態の個体であり、今後時間を掛けて仕上げてゆくそうだ。

01

千葉県 榎田邸

Planning Data

施主	榎田裕哲さん	
所在地	千葉県	
竣工	2017年12月	
外装仕上げ	ガルバリウム角波鉄板	
内装仕上げ	鉄骨表し、合板、塗装	
ガレージ面積	115㎡	
敷地面積	1123.72㎡	
構造	鉄骨造	
愛車	1962年式	シボレー・インバラ
	1948年式	シボレー・フリートライン
	2005年式	ダッジ・ラム1500
	1996年式	ウイエネベゴ・ミニ
	など	

Owner's check

■ガレージのここがお気に入り
広さ、レイアウト、雰囲気など全体的にやりたかったことをすべてできているので満足しています。

■ちょっと失敗

特にありません。

■これからの夢

フリートラインやキャンピングカーも仕立てますし、ガレージは内装をはじめ理想とする完成形に近づけていきたいです。

■読者へのアドバイス

限られた予算の中で理想の形に纏めるために、コストを掛ける部分、DIYで作業し金額を抑える場所など、メリハリを持ってガレージライフを楽しむと良いのではないのでしょうか。

Builder

日伸建設株式会社
千葉県茂原市早野1976
Phone:0475-24-0555
www.nissuikensetsu.co.jp/

設計・施工